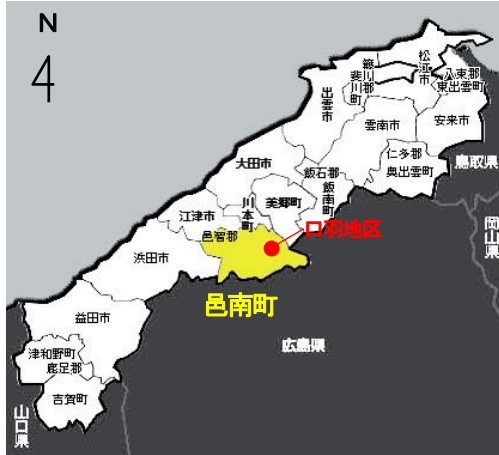


平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	集落支援センター創設プロジェクト
対象地域	島根県邑南町口羽地域
対象地域の概要	●対象地域の位置（邑南町口羽地区）   邑南町は島根県の中央部に位置し、広島県境に接している。口羽地区は、邑南町の最東部に位置し、本庁のある矢上地区から車で約40分の距離にある。口羽地区の人口は874人、世帯数：373戸、高齢化率：52%となっている。
提案内容の概要	平成20年度の本事業により、集落支援センターの必要性和その自立的運営の可能性が確認できた。21年度は、昨年度実施した悉皆調査をはじめとする様々な社会実験から明らかになった課題解決に向けた取り組みをすると共に、<u>集落支援センターの設立と運営体制の構築に向けた取り組みを行う。</u>
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	高齢者世帯悉皆調査から、農地保全（休耕田の草刈等）に対する支援ニーズが高いことがわかった。また、そのほとんどが、条件不利農地であるため、中核的農家があっても、その委託は困難である。この様な農地の現状と活用の可能性を把握するため、「農地一筆マップ」を作成する必要がある。また、条件不利農家を維持していくため、地域営農組織を設立して、中山間地域直接支払い制度等の交付金を活用する仕組みをつくる必要がある。その他、維持存続が困難になってきた、集落自治や伝統行事の運営のための事務局や、高齢者が多数を占める住民組織の事務局を総合的に代行する、「集落支援センター」のような中間支援組織の設立＝地域経営システムの確立が望まれる。
(2) 活動内容の案	活動①：集落支援センター設立準備（以下集落支援センター＝支援センターとする） 内容： ・創設協議会の開催：住民・行政機関・NPOで構成する協議会を開催し、創設に向けた総合調整を図る ・専門委員会の開催：住民・NPOで構成する専門委員会を開催し、詳細事項について検討する ・集落座談会の開催：集落の常会等を訪問し、支援センター設立意義をPRし、認知と理解を深める また、集落活動での問題や課題等の把握し、支援活動に活かすと共に、支援スタッフへの登録のお願いなど、集落組織との連携体制を構築する ・地域ビジネス開拓調査：支援センターの安定的運営をめざすため、行政業務、民間業務の受託へ向けた打合せ、交渉をしていく ・活動拠点の整備調査：遊休施設を活用して活動拠点（支援センター事務所）を確保するため、関係機関と打合せ、交渉していく 活動②：高齢集落支援・農地保全支援 内容： ・農地1筆マップ調査：農地のGISデータを一元的に集約し、いつでも管理対応できる体制をつくる ・集落共同菜園拡大：昨年度の実験的取り組みから副次的に波及した共同菜園方式を拡大することにより、鳥獣害対策と併せた生きがい確保の方策として定着させる ・和牛放牧型農地管理拡大：和牛放牧型方式による農地管理を拡大することにより、雑草管理・農地里山保全方策として定着させる

	・地域営農組織設立支援：地域の農地管理と作業受託を行う経営母体を立ち上げるため、中核農家と打合せ、支援していく ・高齢者活動団体設立支援：車を持たない高齢者世帯の“お出かけ”支援をするため、会員制のクラブ設立支援を行う
	活動③：都市との協働連携・里山資源の活用
	内容： ・食料協定と荘園開拓：都市住民との協働により、空農地を荘園とみたち、ふるさと米を供給する仕組みを開拓する ・荘園訪問体験交流：荘園オーナーとなった団体、会員を対象に、現地を訪問し、田舎体験プログラムを提供することにより顧客拡大を図る
	活動④：活動成果の検証・まとめ
	内容： ・報 告 書 の 作 成：本事業で取り組んだ活動の成果、効果を検証し、広く公開する 各関連機関との情報共有や各施策の展開手法の伝承に留意する 他の中山間地域との情報交換・広域的連携を行う資源として位置づける
応 募 団 体 名	集落支援センター創設協議会
リ ン ク	http://www.hsnt.jp/satoyama/
部 局 ／ 担 当 者 名	事務局長 小田 博之
連 絡 先	0855-87-0775
推 薦 市 町 村 名	島根県邑智郡邑南町